

保健所の経営方針

所長 犬塚 君雄

展 望

市民の健康に係るあらゆる関係機関が連携して、いつでも適切な保健・医療・福祉サービスを受けることができ、市民一人ひとりが生涯を通じて健康で生き生きとした生活を安心して送ることができる。

使 命

「健康おかざき 21 計画」に基づく様々な保健サービスを提供し、市民の健康づくりを総合的に推進する。

医師会等関係機関と連携して、地域医療体制の充実をめざす。

「岡崎市食育推進計画」の見直しを行い、食に関する関心を高め、正しい食習慣やバランスの取れた食生活の実践をとおして健全な心身と豊かな人間性を育む。

感染症等公衆衛生上の危害の発生を防止し、もって市民の健康の保護を図る。

動物行政を総合的に推進し、人と動物が共生する快適な生活の確保を図る。

火葬場の狭あい・老朽化を踏まえ、建設計画を策定し、今後の利用ニーズに対応する。

経営資源（平成 23 年 4 月 1 日現在）

構成

総務課 生活衛生課 健康増進課 動物総合センター

職員数

正規：118 人（職員比率 3.50%） 再任用：9 人 嘱託：35 人 臨時：32 人

平成 23 年度予算額

一般会計 5,743,617,000 円

平成 23 年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準
新火葬場建設の基本計画策定に向け、建設・運営手法等についての方向性の提示	現況把握、施設規模の算出、建設予定地の評価、火葬場施設の計画、概算工事費の試算、整備にかかる事業方式などをまとめる	・新火葬場の建設計画に向けた、基本計画の策定
食中毒発生件数・患者数の減少	市民等に対する食品衛生講習会の開催 食肉に関する啓発ポスターの掲示、メニューへのリスク表示の徹底	・食品衛生に関する講演会、講習会を 60 回開催 ・人口 10 万人あたり、食中毒発生件数 1 件以下、患者数 10 名以下

新興感染症発生時での適正な対応	感染症対策協議会の開催 国・県の改定状況を踏まえ、情報収集及び関係機関との連絡調整	<ul style="list-style-type: none"> ・新興感染症の講演会の開催 ・新型インフルエンザ行動計画の見直し
乳がん検診受診者数の増加	<ul style="list-style-type: none"> 受診対象者への受診勧奨の実施 健康教育の実施による普及啓発 ピンクリボン運動の実施 クーポン未受診理由調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん検診受診者数 500 人以上増加（平成 22 年度実績 6,858 人）
市民の精神保健のニーズを把握し、自殺予防を含む精神保健事業の検討	<ul style="list-style-type: none"> 調査委託業者を選定 市民意識調査を実施 会議で、市民意識調査結果の報告と自殺予防を含め精神保健事業を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくりネットワーク会議で市民意識調査の分析・評価結果を報告し、施策を検討
飼い主に対して適正飼養の意味・重要性の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、市政だより、オリジナルチラシ等による啓発 ペットのしつけや適正な飼育について指導・アドバイス・啓発の実施 未登録犬の減少及び狂犬病予防注射の接種率の向上のためホームページ、市政だより、チラシ等で啓発、秋には未接種の飼い主に督促状を発送 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ掲載、市政だよりに年 2 回掲載 ・犬のしつけ方教室：年 20 回 ・ペットなんでも相談：年 12 回
来園者が楽しみながら動物について学べる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> 学習を主体としたワークショップの開催 就学前の幼児に動物を観察する機会を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物博士になろうウマ・サル編の各 2 回の実施 ・就学前の幼児を対象に絵本の中に出てくる動物を前に読み聞かせを月 1 回（雨天中止）実施